

え?彼女のお父さんはNat King Cole!

ジャズボーカリスト
星乃けいofficial website
<https://www.hoshinokei.com>

あの日、最初から一夜限りと考えていたJAZZ LIVEでした。でも終えてみると充実感と同時に、不出来な唄の悔しさがふつふつと湧いてきました。そんなところに故ユミ・マーシーさんが耳元で囁きました「次回はいつにする?」。ユミさんはベテランのボーカリストなので、私の悔しい心の内をお見通しでした。そして再チャレンジすることにしました。さて、まずはジャズボーカリストの王道を聴き込もう。勉強になる大御所をユミさんに教えてもらいました。Billie Holiday(ビリー・ホリデイ)、Ella Fitzgerald(エラ・フィッツジェラルド)、Sarah Vaughan(サラ・ヴォーン)、Carmen McRae(カーメン・マクレエ)。しかしながら、難し過ぎてお手上げです。そもそも曲も知らないのに、各々がこんなに自由に唄われては謎が深まるばかりでした。そこで思い出したのですが、昔、私がYAMAHAに所属していた時にポップスシンガーだったNatalie Cole(ナタリー・コール)が東京音楽祭出演のために来日しました。彼女は歌唱力抜群のポップスシンガーだけど、今はJAZZを唄っていると聞き、大急ぎで彼女のCD「Unforgettable」を買いました。いや〜ホッとしました。JAZZを唄うって

難しかったけれど、Natalieのスッカリした表現なら勉強にもってこいでした。JAZZへの入口は人それぞれだと思いますが、私にとってNatalieは敷居が低いと感じられる、最高の入口でした。そしてお恥ずかしいお話ですが「え?彼女のお父さんはNat King Cole(ナット・キング・コール)っていうジャズボーカリストなんだ〜!」と知って、今度は男性ジャズボーカリストを聴き始め、その後は果てしなく地引き網を引くようにジャズの世界が広がっていきました。再チャレンジLIVEは、1回目よりはましかなあという程度でしたが、その出来映えよりも再チャレンジをするために、ジャズボーカリストというものと真剣に向き合うきっかけになったことが何よりも大きな収穫でした。

じつはこの時期、私は長く続けてきたスタジオワークに限界を感じていました。そこに降って湧いたようにJAZZ LIVEとの出会い。深くて解らなくて手強いのに、猛烈にゴキゲン!! 私はスタジオワークを辞めてLIVE活動をスタートせずにはいられません。ジャズクラブにほとんど行ったことがなかったけれど、幸運にもミュージシャンたちがいろんなお店に連れて行ってってくれてLIVE活動がス

タート出来ました(本当にありがと〜!)

シンガーソングライターだった若い頃、目の前でお客様が私の唄を聴いてくれ、握手をしたりして確かに交流がありましたが、その後は長い間スタジオワークという裏方の仕事だったので、もう二度とお客様の前で唄う事は無いと思っていました。それがJAZZに出会ったおかげで、また人前で唄うようになり、人と人が触れ合う素敵な場所に戻ることができました。LIVEって最高に楽しい〜!



2005年12月14日、ジャズシンガーとして待望のリーダーアルバム「NEARNESS OF YOU/星乃けい」、2006年12月20日「IN A SENTIMENTAL MOOD/星乃けい」をLP、CDでリリース。オーディオファン、ジャズファンから高く評価支持される。